

# 保育経営懇ニュース

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F  
Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 [gsp10404@nifty.com](mailto:gsp10404@nifty.com)

2025 年 1 月号  
No.253

2025 年 1 月 24 日発行  
全国民間保育園経営研究懇話会

## 経営懇役員リレーエッセイ

### 2025 年の幕開けです

全国民間保育園経営研究懇話会会長 石川幸枝（広島・福）愛児福祉会）

本年も経営懇会員のみなさんと共に、子どもたちの権利輝く保育・保育制度の前進を目指してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

2025 年を“保育の 2025 年問題”と問題提起されたのは中山徹先生でした。少子化が進み保育園の利用者が減少傾向に向かう、それを機会に配置基準・施設面積基準の改善＝保育の質の改善への運動を提唱されたのです。

少子化は進み 2024 年の出生数は 70 万人を切るという。全国の会員園では 0・1 歳児の定員割れ問題が経営を圧迫していると深刻な報告もあります。今後も少子化傾向は続くでしょう。そんな状況下でも、子どもたちのために、安定した保育園経営ができる道を探求する運動を展開したいと思えます。

奇しくも昨年 12 月、国は保育の質確保の計画案を政府案として発表。待機児童の受け皿整備から、保育の質の確保へと政策転換するという。その内容は、①「地域のニーズに応じた保育」②「すべての子育て家庭への支援」③「保育人材確保」を三つの柱としています。私たちが望むものと合致しているのでしょうか。

この間、長年の運動を土台に、「もう一人保育士を！」運動の広がりもあって、76 年間変わらなかった 4・5 歳児の配置基準が 30 対 1 から 25 対 1 に変わりました。

面積基準は変わっていませんが、こんなことは考えられないでしょうか？

子ども一人あたり 1.98 m<sup>2</sup>×30 名の保育室の場合、子どもが減って 25 人になれば、同じ部屋でも一人あたり 2.4 m<sup>2</sup>へと広くなります。更に減少して 20 人になったら、一人あたり 1.98 m<sup>2</sup>から 3 m<sup>2</sup>、という計算になります。利用者の減少を機に、面積基準も徐々に改善すれば保育の質の向上につながります。

同時に委託費も子どもの数が減っても元々の額が保障されるしくみを求めたい。そうであれば、公立保育園が子ども数増減の調整弁になる必要もなく利用者の争奪も必要ない。どの地域でも公立・私立が共存できるのです。その他にも職員を増やさなくても改善できる。建物を増築しなくても改善が可能で委託費が保障されれば経営面での問題は生じない。保育の質が向上、保育の労働環境も改善できる。

私たちが求める保育の質の改善は、子どもたちにもっと手厚い職員体制のもとで保育を保障すること、保育士の質の向上とともに保育時間の短縮など保育労働の軽減です。実現のためには保護者の労働時間短縮など様々な労働環境の改善も必要ですが、現在の日本の保育時間は長すぎです。また保育を必要とする親子には全員保育を受ける権利が保障されるべきでしょう。誰でも通園制度などというまやかしではなく。

今世界は、第 3 次世界大戦の前夜の様だと予測する人がいます。私たちが守りたい子どもたちの生きる権利・育つ権利を保障できる社会は、平和でなければなりません。私たち大人がなすべきことをしっかり考えていきたい、と思っています。



## 保育をめぐる情勢

### ● 来年度予算閣議決定、1歳児の保育士配置基準加算制度で改善へ

政府は、12月27日、2025年度政府予算案を閣議決定しました。主に厚生労働省と子ども家庭庁が所管する社会保障関係費は、24年度より5,585億円増え、38兆2,778億円と過去最高額が計上されました。しかし、高齢化などにより当然増える「自然増」約6,500億円を、制度改悪によって1,300億円程度に圧縮しているため、国民に負担を強いる内容といえます。

一方、防衛関係予算は、初の8兆円超えとなる8兆7,005億円が計上されました。24年度より約7,500億円増え破格の扱いです。これで11年連続で過去最高を更新しています。文教予算額は4兆1,218億円となっていますが、防衛予算の半額以下にとどめられています。

#### 1歳児の配置改善、加算対応…!?

子ども家庭庁は来年度から、保育所等の1歳児に対する保育士配置について、配置基準の6人に1人（6対1）から5人に1人（5対1）に改善した施設に、保育所の運営費のもとになる公定価格を上乗せする加算制度を新たに設けるため、109億円を予算案に盛り込みました（資料同封。該当部分は下記図表）。

本来、配置基準は、法令である最低基準を変えて、すべての施設で実施するようにしたうえで、そのための予算を確保（2014年の試算では、1歳児の配置基準の改善のための予算は670億円）すべきなのです。しかし、今回は、その2割弱にすぎない額しか用意できなかったようで、1歳児5人に1人の保育士配置に改善した施設で、以下に示すような条件を達成した場合のみ新たな加算を適用するとしています。

- ①職員の平均経験年数が10年以上である
- ②3つの「処遇改善等加算」をすべて取得
- ③ICT化実施(子どもの登園や帰宅の管理システム導入を必須とし、それ以外に、保護者への連絡、保育計画・記録等、もう一つ利用)

すでに多くの現場では、独自に上乗せして対応していることが多いにもかかわらず、このような細かい条件を設定するのは、対象施設をしばりこむ意図があるように思われます。また、保育現場のICT化を、無理やりにでも推進させたいという狙いも見え隠れしています。

とはいえ、前進であることは間違いありません。3歳児、4・5歳児の配置基準が2024年度から改定され、経過措置はあるものの、改善が実現しました。今回の措置もそれに続くものとして、積極的に評価しつつ、全体の底上げとなるよう改善を求める声をさらに広げていく必要があります。

衆議院では与党が半数を割っています。その状況を生かせば、予算案を審議する通常国会で、さらに改善させる可能性はあるといえます。気を抜かず、このタイミングで現場の実態と改善を求める声を国会に届けましょう。

2月5日には、よりよい保育を実行委員会による国会行動が取り組まれます（詳細は同封資料参照）。今回は全国会議員を訪問し懇談・要請するために各地から参加をとの呼びかけがされています。経営懇としては、2月下旬に、再度子ども家庭庁との懇談を行います。

全国的に深刻さを増す保育士不足の解決は待たなし！です。さらなる改善を求めて、現場から、引き続き声をあげていきましょう。

### 令和7年度予算案等における対応

- 1歳児の職員配置の改善を進めるため、公定価格上の加算措置として、新たに「1歳児配置改善加算」を措置する【令和7年度予算案109億円】
  - 具体的には、人材確保や保育の質の向上の観点も踏まえ、職場環境改善を進めている施設・事業所において、1歳児の職員配置を5：1以上に改善した場合に、加算する（令和7年4月～）  
※6：1の配置に要する経費と、5：1の配置に要する経費との差額に相当する金額を加算
- 【対象】以下の全てを満たす事業所（配置基準が既に5：1以上である小規模C・家庭的保育・居宅訪問型保育を除く）
- (1) 処遇改善等加算ⅠⅡⅢの全てを取得している
  - (2) 業務においてICTの活用を進めている（※①登降園管理、②計画・記録、③保護者連絡、④キャッシュレス決済のうち、①及びもう1機能以上の機器を導入し活用している）
  - (3) 施設・事業所の職員の平均経験年数が10年以上

## ●誰でも通園制度検討会、とりまとめ発表／2024年12月

こども家庭庁は、12月26日に、こども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会のとりまとめ文書を発表しました。概要資料のみ同封しますが、とりまとめ文書は、ホームページに掲載されています。

こども家庭庁ホーム>会議等>こども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会  
**25年度の制度内容と26年度は違う**

この検討会は、2024年6月～12月まで4回開催されました。主に、①2025年度の制度のあり方、②2026年度の本格実施に向けての、二つの柱でまとめられています。

2025年度に限り「地域子ども・子育て支援事業」の一つとして実施し、26年度以降は給付制度となるため、25年度と26年度とは同じではない、ということに注意が必要です。

例えば、25年度の利用時間は引き続き月10時間ですが、全国的な状況等をふまえて検討するので、10時間のままとは限りません。補助単価も、25年度の単価は予算案で示されていますが、26年度は給付事業になるため公定価格が設定されることになり、地域によって金額が変わることが予想されます（地域区分等）。

26年度から給付制度として全自治体での実施が予定されていますが、自治体に対し、課題や問題等を届けていくことが必要です。

## 各地の活動・動き～学習会のとりくみ

### ●「子どもたちを輝かせる保育・環境・制度」8/23 長野経営懇

長野県民間保育園経営研究懇話会では、8月23日に、対面で学習会を開催しました。講師は、経営懇会長の石川幸枝さん。当日は、9市1町の10園から、20名の参加がありました。

配置基準・誰でも通園制度・保育士不足など、今の保育情勢、現場の現状、今後考えるべき視点について話していただきました。卒園児がどんな大人に成長しているかなども話していただき、子どもの育とうとする力、保育士と保護者が手をつないで子どもたちを大切に育てていく事の大切さなど、心に響きました。

国が「子育て支援」に重きを置くといいながら実際は軍事国家への道を進めていこうとする姿を見過ごしてはいけないと思いました。

「誰でも通園制度」他、市町村の保育に対する関与を縮小し児童福祉法第24条1項の廃止を行政は目論んでいるとのこと、私たちは常にアンテナを張っていかなければと改めて思います。対面でのお話ならではの空気感、良さが沢山ありました。

### みんなが参加しやすい環境は…

当日、来られない園が幾つかありました。体制がとれないという理由もありどのように参加できる環境にしていくかは難しいところです。長野県は地形の関係もあり、移動するのは

主に車なのですが、場所によっては移動時間が1時間以上の時もあります。他の会議同様Zoomとの併用も有かと思いました。

（長野経営懇事務局・小松鈴代）

### ●「子ども達の未来を戦争する国にしてはいけない」石川康宏さん 9/19 京都経営懇

京都民間保育園経営研究懇話会では、9月19日、石川康宏さんを講師に招き学習会を開催しました。会場に44名、Zoomで90名の参加となりました。憲法改正論議が進みつつある中、今『憲法』について改めて学ぶことが大切だと考え計画しました。園長・主任はもちろん現場の保育士にもできるだけ聴いてもらえるように、対面&zoom方式で講演時間帯を夜に設定、懇話会会員以外にも呼びかけました。

### 講演より～軍事化に対抗する市民の運動、一人ひとりの力を生かすには…？

平和国家の道を歩んできた日本ですが、この間の政権はその実績を覆してきました。軍需産業の育成など経済の軍事化が進みつつあります。それにどう対抗していくか、が課題です。カギを握るのは、市民の力。危機打開に向けた市民の運動が重要になっています。

ここで出されたのが、トラさんとうさぎさんの話。政治活動をしているトラさんは、支持政党あり、必ず投票に行く。一方、もやもやして

いるうさぎさんは、政治に不満があるが、選挙は時々。トラさんは、まわりにトラさんが多く、うさぎさんのことがわからない。うさぎとトラの関心領域が違い過ぎる！のです。

そこで、「みんなの力が生きる運営の工夫」が必要です。『大人数動員型の運動』から『一人一人の力を引き出す運動』へ、『報告中心の会議』から『みんなが話す会議』へ、と転換する必要があります。

では、どうしたら主体的に参加したくなるのか？石川さんは次の3点をあげました。

- ①わかりやすい、質問しやすい雰囲気
- ②自分が参加している意味を感じる
- ③参加しやすい環境

「聞いているだけで疲れる」から、「自分の意見が反映されて楽しい」になるよう、いろいろな場面で工夫を、とよびかけました。

### 参加者の感想

- ・ウサギとトラの話は保育も一緒だなと園内で話した。
- ・子育て世代は自宅で聴けてよかった。
- ・日本が戦闘機を作っていて他国に売っていることを知り、直接戦争をしなくても戦争の

道具を作り加担していることに驚き悲しくなった。まずは知っていくことが大事。

- ・戦争を起こさないようにどう立ち向かうか難題を突き付けられた。そこで、トラさんの頑張りも大切。色々な問題を提起して気づかないことに気づかしてくれる。

(京都経営懇・谷川芳秋)

## ●学習交流会「子どもの尊厳と職員を守る保育園運営とは」

### 12/6 全国会議大阪支部保育部会

全国会議大阪支部保育部会では、12月6日に学習交流会を開催しました。講師は弁護士の國本依伸さん。國本さんは、社会福祉法人大阪あゆみ福祉会の理事長でもあります。この間、保育現場での不適切保育や虐待がマスコミで取りざたされるようになる中で、子どもを守るとともに職員を守るという視点でも保育園運営はどうあるべきかを考え学び合う機会として企画しました。

当日は、國本先生に問題提起となる講演をいただき、講演後に参加者でグループ交流を含め、学習内容について意見交換を行いました。(保育部会・平野桃子)

## お知らせ

### 【経営懇活動日誌・12月】

- 12月2日(月)役員会。
- 12月5日(木)国会要請行動。国会請願署名をもって国会議員と懇談。こども家庭庁との懇談には、経営懇役員(安川・小林)も参加。
- 12月14～15日(土～日)全保連全国幹事会・合研全国実行委員会開催。
- 12月20日(金)2025年度主任セミナー会場確定に向けた打ち合わせ(旅行社・役員)
- 12月23～27日 経営研究セミナーの分科会打ち合わせ
- 12月24日(火)経営研究セミナー要綱集など事前資料の発送

セミナーで聞きました！

### 2025年、私の夢・目標

- ・休みをたくさんとる、仕事のことばかり考えない(神奈川・園長)
- ・平和運動がんばります(京都・園長)
- ・挑戦の年だけど、自分らしさを忘れずマイペースで歩むこと(東京・主任)

### 同封資料

- 2.5署名提出国会行動 国会請願署名をもって国会議員と懇談します。
- 誰でも通園制度検討会とりまとめ概要資料、1歳児配置改善・保育処遇改善資料